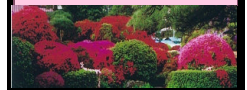


弘教寺



第十号



発行所

〒370-0131
伊勢崎市境米岡二七九-二
浄土真宗本願寺派弘教寺
寺報編集部
電話0270(七四)0573

「利他」の教え—大乘仏教のこころ—

弘教寺住職 中山 英昭

秋葉原の無差別殺傷事件に象徴されるような凶悪な殺傷事件が相次いで起っている。近年死刑願望による凶行が多発しているが死刑についての賛否の論議は別にしても、極刑としての抑止効果は意味を失うことになる恐ろしい時代になつたものである。

また、自ら命を断つ人(以下「自死」と表記する)が十年連続で三万人をはるかに超えている。先日、高崎のご住職が、北陸の自死の名所で、一番多く自死を思い止(とど)まらせている方の話しをしてくれた。崖の上で自死しようとしている人の背後にそと近づき、軽く押すのが、コツという。二度と自死する思いにならないというのだ。ちよつとしたキツカケで、自死は防げるはずだ。本山や教区の方では、「自死」の対策、対応を真剣に取り組む動きが出ている。五月十日の朝日新聞の記事中、東工大の影山教授は「自殺を願う人は、生命を尊重する心に欠ける。だから他人を巻き添えにした間接自殺が起こり得る」と述べている。

自死することも、決してあつてはならないが、せめて、他の命を巻き添いにしないほしいものである。

戦後の経済発展とともに、左派的思想が謳歌(おうか)さる。宗教や道徳倫理といったものは、過去のもの、古いもののように扱われ、経済が豊かになればなるほど関心を持たれなくなつてしまつた。

日本に伝来した仏教のほとんどは、大乘仏教である。自ら仏の道を求めること(自利)だけでなく、他を導き救済していくこと(利他)が、大切とされる教えである。

秋葉原の事件で言えば、全く逆の位置でのものの考え方である。自らを害する前に他を害する行為である。

「自らを利する前に、他を利し、救済する心や働き」が仏教精神の一番大切なことである。仏教伝来以後、永い時を経て、仏教の利他の心は、広く日本社会の中に透け込み、生活倫理の根幹となつてきたと思うのである。年輩の方々から「昔は良かった」という言葉を聞くことがある。少なくとも、今のよう

に、食品を偽装したり、ごまかして儲けるようなことは、一流の店はしなかつたはずである。振り込め詐欺のように、高齢者をターゲットにして、だまし取ることもなかつたろうし、社会的弱者をいじめるような倫理観もなかつたと思うのである。

マイクロソフト社のビルゲイツ氏は、コンピュータの世界を離れ、自己資産数千億円を元に、貧しい世界中の人々の救済活動を今後のライフワークにするという。キリスト教の奉仕の精神のすごさである。

仏教の利他の精神をもとにして、温かな豊かな心で、人と人が向かい合える、そんな社会を実現したいものである。 称名

寺離れ地方も都会も

「死刑願望」凶行多発

兆吉船場 廃業

中国ウナギ200万匹偽装

自殺10年連続3万人

飛騨牛偽装社長が指示

新聞記事よりの抜粋

『群馬組念仏奉仕団』

本山へ

群馬組念仏奉仕団として、去る六月四日から三日間の予定で、当日県内各地から藤岡市西蓮寺へ集合し、艸香組長を団長とし、住職・坊守・門信徒の皆さん総勢四十一名で、朝六時半にバスで出発、高速道路を乗り継いで一路比叡山へ。根本中堂や聖人ゆかりの常行三昧堂などを拝観し、宿泊地京都に入る。奉仕活動の初日は、午後一時より開会式等が行われ、各団体毎に色違いの奉仕団タスキが全員に配布される。昼頃から雨になつた為清掃は総御堂の畳の乾拭きのみで終了。その後、ご門主様とのご面談、記念撮影が行われ、一日目は終了する。

二日目は九時集合、雨も上がり、開法会館前の道路や植え込みの中の草取り作業、終了後係員の案内で百華園、書院、滴翠園を見学、開法会館へ戻り、法話、表彰式と続く。今回の奉仕団は東京教区の群馬組から西の山口教区迄、九団体(参加者三百二十六名)がそれぞれ表彰を受け、続いて個人に移り、清掃奉仕に十回、以降五回毎最高三十回参加の人迄、十一名が表彰される。最後に初参加の群馬組に対し、「本願寺念仏奉仕団」の名入りの旗を授与され終了、解散となる。

初参加でしたが、念仏奉仕団は、ご門徒の方々が清掃などを通して、宗祖親鸞聖人のみ教えに学ばれ、開法と報謝の生活にいそしんで頂く事を目的として、昭和二十八年にご奉

仕を頂く仕組みが整えられた。昭和三十六年の親鸞聖人七百回大遠忌法要から現在の一泊二日の日程が定着し、平成十五年に五十周年を経て現在に至る。今日では年間二万人のご門徒を迎え、今年度の日程を見ると、奉仕団が六十六回も計画されており、驚きである。今回、ご縁あつて奉仕団を通じて、本山に参拝出来ました事を喜んでおります。

◆ご門主とともに記念撮影◆

(田中)



仏教の豆知識

(3) 「焼香」について

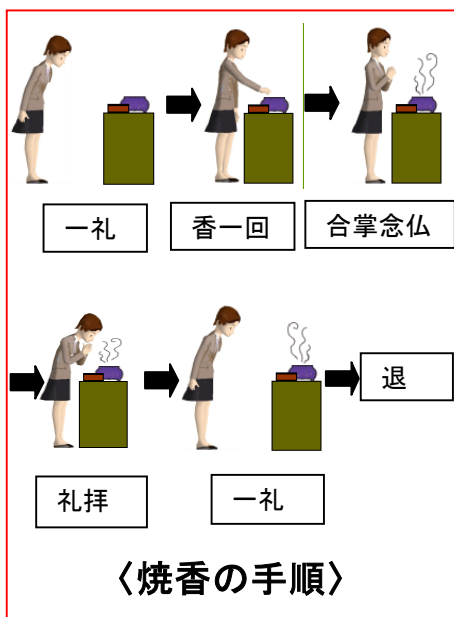
焼香の作法

焼香の作法は、宗派によりこととなります。浄土真宗本願寺派の焼香の作法は、焼香卓(じょく)の少し手前でご本尊に一礼し、焼香卓の前まで進んで香を右手でつまんで、いただかずに香炉の中に一回入れ、合掌・念仏・礼拝し、少しさがり一礼して退出します。座(ざ)で行う場合もおおむね右に準じます。

焼香の時の注意

- 香をたく前には、合掌・礼拝しない
- 香を供えたくのは、一回でよい
- 香をおしいただかない
- 焼香の時「りん」をたたかない

香木には自然香木として、「伽羅」「沈香」「白檀」などがあります。浄土真宗ではそうした香木を刻み火種にのせてたく「燃香」の方法を用います。



西本願寺HP抜粋



囲みの会



◆ 始まる！



教室風景

お寺のホームページの打合せの席上 坊守さんより門徒さん相手にパソコン教室を開催しませんかとお話がありました。その後役員会の席上でご住職などの後押しがありこの度 弘教寺壮年会「初級パソコン教室」を開催することになりました。対象はお子さんやお孫さんのパソコン操作を横目で見ていたおじいちゃんやおばあちゃんです。開催日時は毎月第二週と第四週の水曜日午前九時半から二時間 会場は本堂です。ご希望の方は お子さんやお孫さんのパソコンを持ってお寺に来てください。 （西

「弘教寺仏教婦人会だより」

去る五月二十三日 平成二十年度弘教寺仏教婦人会総会が開かれました。本年度は役員改選が行われ 会長をつとめられた 福永君代さんが退任されました。また 新会長に前副会長の野水孝子さんが 満場一致で選ばれました。

ごあいさつ

新会長 野水孝子

この度 福永会長が体調不良の理由で退任されましたが 引き続き役員に残って下さるとのこと。心強い味方を得て微力な私ですが弘教寺の名を汚さぬ様 皆さまのお力をお借りし 和気あいあい明るい婦人会活動を通じて 一人でも多くの人達に「お念



前会長 福永君代

仏の輪 を広げ ご聴聞いただけるよう努力してまいりたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。

へ福永さん ましたこと 心より感謝しております。すばらしい野水新会長を中心に 婦人会がますます発展しますよう協力して行きます。これからもご聴聞を重ね 皆様とのご縁を大切に心豊かに生きて行きたいと思ひます。ありがとうございました。

東京教区仏教壮年会連盟総会・大会報告

五月二十五日築地別院にて総会並びに大会が開催され 当寺からは七名参加しました。今年度から新たに全国組織の「仏教壮年会連盟」が発足し 仏教壮年としての新たな始まりを期して 自主自営の活動を進め 組織の充実発展を図って行こうというものでした。

当日 境内では築地本願寺三百五十年記念祭の一環として 映画「築地魚河岸三代目」の完成披露行事等が催され賑やかでした。来年の二月には 教区仏壮最大行事の一泊研修会が伊香保温泉にて 群馬組が担当し開催されます。約三百名もの大勢の参加が見込まれます。仏壮会員皆様方のご協力 ご参加をお願い致します。 （貝塚

圧勝！伊部さん 弘教寺ゴルフコンペ

第七回弘教寺ゴルフ会のコンペを五月十六日新玉村ゴルフ場にて開催いたしました。



好天に恵まれ 参加者十五名で競い合いました。栄えある優勝者は 発足以来毎回出場で 上位をいつも狙っていた 伊部芳夫さんが執念のダントツ優勝でした。次回は九月九日上武ゴルフ場にて開催が決定しております。

子どもの集い・春第6回(5/5)



「じゅうせいびのおつとめの後」「どんな小さなお花にも『いのち』はあるよ。人間と同じ、一つのものに一つのいのち。大切にしようね」と住職の法話を頂きました。紙芝居「おうむの王さま」は、自分だけでなく傷ついたもの、年輩いたものを大切にする王様のお話でした。皆よく聞いてくれました。お待ちかねの紙ひこうき作りは、紙を折ること自体が難しいのです。体育館へ移動して、滞空時間と飛行距離を競争したら、うまく飛ばず、てますます難しいのです。でも、飛ばし方のお手本を見て工夫し、額を寄せ合って手取り足取りで、他に4種類のひこうきも作って、何度も飛ばしました。面白くて、もともと飛ばしたくなくて、うまく飛ばせそうでした。「またひこうき飛ばしの会をやりたいですね」とスタッフの感想が聞きましたので、今夏の集いでも作って遊ぶ「こーす」を考えています。(坊守)



◆この人◆「杉本光子 さん(伊勢崎市)

伊勢崎市境の仲町に生まれ、ゆえあて杉本の叔父夫婦の養女として育った。「弘教寺の前住職、前坊守には大変お世話になった。が日頃の口癖で、特に九歳上の前坊守には妹のように可愛がられ、叱られたり、喧嘩もよくしたそうだ。

昭和二十年四月、敏夫さんと結婚。家業の「鳶職、杉本組の四代目のご主人を助け、現在長男の修さんが五代目を継いでいる。報恩講法要のお斎(とき)で、精進料理の「なます」「白和え」「がんもどきの煮物」永代経法要では「筍ちらし」など、前坊守の薄味の伝統を守り、「味の管理人」だと住職たちが評している。

毎月、欠かさず先祖や世話になった知人のお墓参りで寺に来ることが多く、亡き前坊守や坊守と話し込んで帰るのをなによりの楽しみにしてこられた。

取材でお訪ねした前々日に、ご主人敏夫さんの四十九日の法要を済ませたばかりで、かなり落ち込んでおられると思いきや、料理の話になると、いきいき語って下さった。

(玉田)



◆行事予定◆(平成20年7月～平成20年10月)

月別	弘教寺の行事予定		教区・群馬組の行事予定	
7月	12日	壮年会例会	26日	エコの会バザー(於 西蓮寺)
	18日	婦人会例会	29日	弘教寺ユカリ担当組ビハー(若宮苑孟蘭盆会)
8月	19日	婦人会例会	13～16日	お盆
	23日	夏・子供の集い		
9月	6日	前住職27回忌法要・前坊守1周忌法要	6～7日	教区仏壮理事一泊研修
	9日	弘教寺ゴルフコンパ	18日	千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要
	13日	壮年会例会	20～26日	秋彼岸
	19日	婦人会例会	23日	秋分の日
10月			30日	組ビハー・若宮苑彼岸会法要
	20日	婦人会例会	3日	組仏婦連盟総会(於 清光寺)

◆編集後記◆

梅雨になり田んぼに田植えされた今日、気が付けば半年が過ぎて早や?まだ?と感じられます。つつじ寺だよりも夢中の内に十号です。これも皆さんのおかげと感謝しております。平成十七年の創刊は切り貼りでしたが、今は入力方法など猛勉強?パソコン編集になるこれからは画像編集に挑戦し、寺の情報をお届けしようと思っております。なお、寺の情報はインターネットでも見られます。(M・H)